

# 東京都区部災害時透析医療ネットワーク主催の Web 区民公開講座のお知らせと 新型コロナウイルス感染予防のお願い

2020年12月25日、東京都区部災害時透析医療ネットワークより、新型コロナウイルス感染症、および災害時透析医療活動マニュアルの改訂に関するWeb区民公開講座が配信されました。

東京都においては、10月下旬から毎週10人程度の透析患者の新型コロナウイルス感染者が発生しています。23区内の透析患者の新型コロナウイルス感染者の受入施設は十数施設しかなく、なおかつ1施設の受入可能人数は1～2名となっています。入院は、最低2週間程度が必要となるため、12月22日現在、満床状態となっており、入院調整が非常に困難な状況になっています。今、感染拡大の予防の極めて重要な時期となっております。本公開講座をご視聴いただき、感染防止へのご協力をお願いいたします。

Web区民公開講座は下記URLよりご視聴頂けます。

視聴URL：<https://youtu.be/NP1VNH1FSrg>

講演1「COVID-19透析患者様における新型コロナウイルス感染の現状と対策」

演者：菊地 勘 先生

東京都区部災害時透析医療ネットワーク代表世話人  
医療法人社団 豊済会 理事長 下落合クリニック院長

1. SARS-CoV-2の特徴と感染対策
2. 全国のCOVID-19透析患者の現況
3. 透析施設での感染対策とワクチンについて

講演2「災害時透析医療活動マニュアルの改訂について」

演者：酒井 謙 先生

東京都区部災害時透析医療ネットワーク代表世話人  
東邦大学医療センター大森病院 腎センター 教授